

好きなことを  
思い切り  
とことんまでやる。

## 三浦 徹



MIURA Toru  
臨海実験所 教授

1994年東京大学理学部生物学科卒業、1999年同大学院理学系研究科生物科学専攻博士課程修了。博士（理学）。同年学術振興会特別研究員。東京大学大学院総合文化研究科助手、北海道大学大学院地球環境科学研究院などを経て2017年より現職。2016年「表現型可塑性の生物学：生態発生学入門」上梓。2021年日本動物学会賞受賞。

子供の頃好きだった教科は？

### 理科

幼少期から昆虫に興味を持っていたので。

中高生の頃どんなことに  
興味を持っていましたか？

### 剣道

小4のときに始めた剣道を中高と部活で  
やっていました。

学生さんにおすすめする本や教科書は？

### フィンチの嘴<sup>くちばし</sup>

ダイナミックに起こる生物進化の有様と、それを研究する研究者の姿を描いた書。生物の進化に興味がある人は、興味深く読むことができる。

座右の銘は？

### Carpe Diem (カルペ・ディエム)

ラテン語で、その日を楽しめ、という意味です。

東大理学部の良いところはここ！

### 自由闊達なところ

ヒトの役に立つとかではなく、真理を追究するというのが理学部の醍醐味。

趣味はなんですか？

### スケートボード

若い頃少しやってましたが、コロナ禍で子どもと一緒に再開して、子ども以上にハマってます。幾つになっても上達するのは、生物の持つ表現型可塑性の賜。

自分は運がいいと思う？

### 思う

楽しいことをやってただけなのに、東京大学の教授になった。

インスピレーションの源は？

### 風呂、シャワー

アツイお湯に入ると脳の血行が良くなり、アイディアも浮かぶと思われる。

転生できるとしたら？

### もう一度

### 自分の人生を愉しみたい

やりたいことがありすぎて、一生という時間では少なすぎるため。

### メッセージ

やりたいことをとことんまで  
追究しましょう。それが理学  
の楽しみです。



インタビュー記事 ▶